

3. 客観的な指標の算出方法の公開について

1) 成績評価において客観的な指標の設定は、次の学則に則り実施

学則第八条（科目の評価）

科目の成績は、筆記試験、レポート及びその他の方法（以下「試験」という。）により評価する。なお、演習及び実習においては、平常の学習状態とともに諸記録、レポートを含めて総合的に評価することができる。

2 科目の評価は、A（80点以上）、B（70～79点）、C（60点～69点）及びD（60点未満）とし、C以上を合格とする。

成績（学修成果）評価については、各年度末までの試験の実施及び実習の評価を点数配分し、100点満点で評価している。

2) 客観的な指標の具体的な内容（指標の算出方法）及び客観的な指標の適切な実施状況

成績評価においては、客観的指標を設定するために、GPAの考え方を導入した。

GPA算出方法は次の通りである。

学科目ごとの成績評価を点数（100点満点）で表記し、その点数を

S（90点以上）：4点 A（80点以上）：3点 B（70～79点）：2点

C（60点～69点）：1点 D（60点未満）：0点として換算し平均を求めた。

・下位1/4に該当する人数から、下位1/4に該当する指標の数値を算出した。

（客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料）

2019年度第1学年					
学科名	看護学科	学年	1	学生数	75名
成績の分布	GPAの平均 3.140				
指標の数値	1点未満	1.9～1点	2.9～2点	3.9～3点	4点以上
人数	0	3	28	37	7
下位1/4に該当する人数			19人		
下位1/4に該当する指標の数値			2.743以下		